東京電話】松平、岡田貴衆國院

重ねて優渥なる

日大学館閥保護官を宮中に召ぎ

の廿機 (内不確實)

帝國海軍航空部隊は十二月廿六日早朝マー

þ

任ずるや獨力を以て長葉

二、帝國海軍航空部隊は十二月廿五日夕刻ブーゲンビル島北方海面に於て 右機動部隊を捕

バランド島カビニングに 來襲せるも所在部隊之を邀撃し其の二機を撃墜せ

十二月廿五日早朝敵機動部隊の艦載機約百

った 來襲の世 概を撃墜

、帝國海軍航空部隊は十二月廿五日午前ラバウルに來襲せる 敵機約七十提攻撃し、敵艦一隻(艦種不詳)を撃沈せり、我方の損害。未歸還四機

刺語を賜ふ

應議長恐懼威激

概に答るやわれに職し英山(南原西北四十二キロ)附近に進出し

里見船舶輸送部隊

し諸に第十五 師および第百六十二

大本營發表

我方の損害軽微なり

る水圏地帯を利用し継漢の関節に振れる顔敵を運日不眠不休で突破

中塚に関してさきに軍司令官より威吠を受現さられしが、今般是く 部隊、小場部隊、軍見耐能緊姦部隊、範田が兵中隊および反回を兵用が億中支那方面に於ける江南職滅作職に於て武功故事なりし聚職

あるひは敵機の路梁下に泪次ぐ流航き遊灣なく處理し針谷部家など 信義に於て民州、荷首、被江、軍都などにおいてあるひは慶雨の中に

山の出身

養に敵策・集團第るして型両派:中國お守の企場を放棄するの1.5な意思を購入て、

時間の現態階を馴挟、芸代職等の一層職態ならびに裏瞰の比響場節もて整理例相の職品報告は過渡さる「ラワーマキン制におけるわず議定」

プワーマキン間におけるわが混空

游々たる職果と一緒に

獨主力艦勇戰

號の英雄的最後

に暗夜豪雨中米知の知形と歌

いの不明とを克服しあるひに音響にす

大津部隊 及町步兵中隊 (長 陸軍

桝尾部隊飯田歩兵中隊(長陸軍

推)質動度(影子に関方)附近の影響に於て夜間像「古志郷新組行大字大黒新田出身及「夢の紫蛭を作るの武動を聞て言言」

カビニングのわが茎地に膨散後を出動をしめてニューアイルランド

一年の約三分の一の廿十十年

敵艦艇百廿五

血祭

來以日五十 果戰合綜の

授師を通過

柳生繁雄

路経法技達上

待面義雄

Pつて攻撃を加へ同時にその午前

つて交際、ラバウルを初めニユーラバウルに関しても約1十一歳をも

歩兵中隊長反町幸作中尉は涿湯縣

く駆除部隊として選奏された反町

週南部隊の

隊附と

なり

北支中支に

岩橋の岩心と関ね、前隣海以来と

同に對する正しい認識の把握を要

一頭一點に第中し、一機一體の増産

して翻解を達べてンに年内職事を一なる顧問の意を表する語

め深遠

ード、マーシャル諸島神運識的海

區別し

認識せねばな

【群山電話】廿七日陸至省より運一撃豫備之官墨をに入り同校卒劉後

(長 陸軍大佐梁瀬眞孝) 熟也

力と猛烈果敢なる攻撃力を銃艇しあるひは暗夜繁雨を冒しある

なる自兵戦により台四日間殆ど不眠不休館所に衆敬を選択攻撃

中職と義を生化就量司令官・予職制を叛敗さかたが、今後期くもし間と建せられた「新廿七日十六時間対領しり、この心く著表された「使え後書」本年初事の江南國総に献いるいて武功武事なりし妻庸称歌、小樂部歌、田見制統勢登部隊、使日沖兵中隊おして 反領が兵

*「同極遠を寒取機場し、歌に数大を打撃を戦へ所職足職をもつてこり中隊長、小家長指次いで慶心、下七官兵の死傷又驚出するも屈さ

の歌画に於いては朝と憲法するや懸を表せずこれを攻撃関島山に

(原風山東南マキヒ)を建攻

お食温暖圏に選進してある

區別 せよ 戦果 と 戦局

騰雅 決戦の 意義を 强調

上聞の榮、江南作戰の武功

勇戦、惡條件を克服

梁瀬部隊ほか四部隊

補陸軍築城部本部長 本部長更迭

木村中將補職

医沼 他遊

【東京版記】 貴族院の國海軍 誠思に應へむ **動する威謝決豪**

の観測によいて広範と選派するや物を発せずこれを攻撃随高山と時、北次帯超緩南軍署合軍と服義を奪奪撤往参先を輸して消滅でしめ販事出(没計西南五十四キロ)院近、するの衆に派したるの、深版な企動隊を表先を能して 青瀬でしめ 販売 けんしょう 徳に敵節を後河し、同当にありし敵を急遽駆破するこ式に敵の海嶽」に敵族を賜り今回提くら上島に登

衆議院本會

貴族院本會議

うるとともに重ねて協議さる影響

レ陸海

突 () ()

信原

平安北道知事

自石

同一次通局長 **小林**和一

Ę 鹽田正洪



內閣辭令 (平台)

前中の 極無過 より本會議を開くが必要とあらば、何時にてら開資する語を遭し同四日時四十七分散費した

ごれを

を変え

總督府閩南局

り、フジルで過酸派云した製田豊 一首(実成)氏に製)略員一間を代 素して左腰洋之助(実成)氏より 原館の厚奈美しる心とで平内の離 の原金美しな心とで平内の離 年一月廿日までを休慮とし廿一日政府順番品額案の影响の都合上來

田村靈祥著

大五五九六

天真道本部

于自間

絕對的上達法

な特殊技法。字で困る一立派に上達する不思議 日間でペン毛筆共實に どんな悪筆でも必ず十

び禮狀澤山到着一 を勸む。實驗者皆大喜 希望する方へ是非實習 方、最短時日で能筆を

被高等官一等(各種)

すばらしい能筆を輝か 十日間の人知れぬ間に

寮

が任官プ以テ待遇セラ

ずいよー\ 養極化し
南方はプージーにおいてはマーシャル諸島攻略に

遊踏し難きものがある。 もとよば 感人激烈、脱詞の前途違かに 盛らずしておくべき。 るを疑める。聖代に生を事くる 個の選生いかで整備を安んじ

明無に於いて七千九百萬國から

の途こそ實に各々その職域に必 而してこの悪旨に應ふる國民

> あらう。しかしそれだけに國民 ても一分の効果があげられるで

つした實際の經濟的負擔の問題

煙草の値上げ

増加と購買力の吸收は平年度にされた。政府が組み國庫収入の

内外地を通じて煙草が値上げ

げに不平をいぶものはないであ

長に飼職して敵用暴徒の壊成、暴

の成績が良かつたことに鑑みて朝

兵の強備訓練につき所襲を述べそ

り、量後に小磯郷優より墨徳志願|訓練が熊内墨徒より出席率その他

第公乗はイタリヤ戦況につき東部 ると登奏した、ドイツ職務員でよ

損害甚大な加軍部隊

獨軍の反撃熾烈

郷軍は 反撃に 出で重要な高地若 去る廿四日甚大なる損害を被

態々旺盛なるものがある。然し て國家逻辑の秋であることゆめ

の基礎に立つて、破職域の主条

動力増展の速かなる温度に軍身を乗り、一億國民はこの上とも ことに離する。洞に歌力増强のわざせ始うたことは側初めての に関語を通じ荷職を大個心を重 情難き駆旨を議會に乗し、われ

と配力増殖に整國一登通道レフ 日の金男金製は高々込跡の信念

堪へ生産ニ動メ舞シク郷会ノ

第八二四部國際會二級國西白出 白れ、貴梁國院鑑賞に関し信道 年の歌話を図うた。特徴を認識 のころ。間に恐懼威強に堪へない

設量優渥なる勅語を拜す 天県陛下には合

諸官に御陪食

数法院ノ梁惇テル被職フ

木戶內大風, 頁

永野軍令距離長、群本大官、

我方の損害 対

上陸用舟艇一隻

(炎土大破)驅潜艇一隻(炎上大破)、火力型特殊輸送船一隻(撃沈鹿ね確實)

【東京南部】ニュープリテン選ラーシビル局方面から西方はニューギーよりラバウル方面に戦の貧利な展 ニャ、ニュープリテン闘マーカス 廿五六の兩日、海鷲の戰鬪經過 - 開をはかるなど問題より郷二無二 一概能質。田中整盤臨路の下に開催 - | 時四十分まで第三音融鑑でか

各種の 展覧響を 見るとての開

總督發言內容

づれにしても、質てないほどの 製的な生活必需品でないことに ようで、値上げに大して驚く気 ど質施されてゐないが、内地のある。しかも朝鮮の煙草には宋 地上では定置の他上

で連ない。更にこれを消費税の がよく音年の氣港と心臓へをレフ 一人魔らず職場へ起いたことは凱

強幅訓練を 石つた ことは青年の 述べる、領用學徒、志願弼兵に鉄成 東郷を添蔵する必要がある。 変観を添蔵する必要がある。 変観を添成する必要がある。 変観を添成する必要がある。 変観を添成する必要がある。 変観を添成する必要がある。 変観を添成する必要がある。 変観を添成する必要がある。 変観を必ずない。

(単) 原草値上でご関する

でいかけ | ◆金大羽氏(全北道知事)東上中の関サ八日衛任

到于古僧里记(京城)新井梁彦、木村等湾(大城)阿田等房、安山)东田等房架之 三、守粤)东田等房架之下,三(名) 敏手 Ø # 日佐々木 章 郎 をみな 木あや子子

推進隊歌

朝鮮殖産銀行 消 沿電影響(台)

販賣元圖株式會肚玉體商店財團法人理化學研究所創製

敵機約七十機を邀撃し、其

敵に與へたる損害

全米の鐵道を政府接続

語学を凝り

島の敵陣は焼野原 カス岬附近の 敵艦船及びピ して酸艦一盤を墜沈レラパウル上

隻以上、上陸用分施大型五隻、 六乃至十七隻、海上トラツク四 六乃至十七隻、海上トラツク四

男女兩性の 要

精 雞

おいて常園海軍航空部隊および地アイルランド島カピエング方面に ーカス解析近ラバウル館にニュー

米、鐵道罷業彈壓 我方の損害 隻、屬潛艇一隻、輸送耐八隻、沒

機以上を撃墜

る各種疾患に障碍に起因す

現場官吏に責任制 計畫は斷乎實行へ

いふことを知った、明確な見 行するのが上策である、意應な

小磯總督 局長會議で説

て官吏、現場職員の責任制を新年 要を満原する国と増産を確保す

ため品目を指定し最低を提示し以

積極的に断行すべきである、増産

総田智 責絕 任對

せ給への

振智東京五〇五四五 曜 品 二 四 九 番 順 島 原 平市 五十 番

千二百金山整理

內燃機能制組合,東西船用機械統

ルほ地方機構としては地方行攻

域」に受験力の配置に相當の困難を

域

警察の文那部力を入れて射動の縁 委員會に召申することになづた。 観されるので明年度に戦化から相 を附膝決定象を得て新年早々勝く

く、從つて政府の一部では戦争の

野行霧

小快晚

八田田

傑題 作切

戦力化へ重點配置

國民校修了者の 割當

一千米以下のものを射つもの。

給開發を広かることにならう

岩汁工業を整備

生産統合へ軍需省乗出す

をはかるものとす

変作〜地主の協力期待 帰し土改進捗 帰職

門たる(一)小規模土地敗員事業)

農商局長談

は一三八百町歩であるが、所によっ 土地改良、事実団施の目標 A

新織維コタイン

水田世萬、記を開發

でむる

明年度滿洲入植六萬二千

る開拓民のほか筋膜を多種に動員

軍需の生産産港經濟

すでに二ケ年、新出春度は今や脳 郷的には東班の中線階として政治

4般さんと仲間しのスマトラ、アチェの子は第1

元氣なアチェの子供

スマトラ朗信

けごその子供語はなかなか元素、反映さんとは大の仲よしだ、空飛けごその子供語はなかなか元素、反映さんとは大の仲よしだ、空飛げ





業ひの

の四十八手で押し

春娛樂の



一等により緊急脳地造成地層におけ「震勇軍鉄成一萬三千五百、勤勞報

の爛/ 好豪銀 取華幕

、組なの●

一顏花

出演 博正ノキマ 彈一第春 新 竹 松

田坂藤佐 そ名前安羽照双

西放藤性 C名削安初照及 | 中本野分力の 藝 | 土は 寄田 の 黒 葉 代武夫信揚 岩山海山國山

座 治 明 切封系白**日九廿**

場劇場實



宗排込株金 「表5000-00 (昭和第八年拾月参拾登日現在) (昭和第八年拾月参拾登日現在) (昭和第八年拾月参拾登日現在)

→ 雛然となれ教(子を訪な 小糸のぶ 原東 石井 漠 | 対

東京空襲 - 佐藤少勝

を

髓 濱本 浩

(談對

別が大阪に記り

(音) 中庭次 家 の方や御心配の人 の方や御心配の人

へ生なるべてせ * 清林

總代會指命制

高射他部隊

の重要性

教育訓練が

至鮮商議決戰化 ^ 改組

美智子女王殿下

きのふ 朝見の御儀

らんとする华尚の飛恩が眺を崩縮」と雲瀬市です者人たもの際と眺め 海軍志願兵の締切り迫る

戦況は職場で

猛吹雪もものかは 女、子供も一家總出で薪運び

例を行び《大東配道林》とし

鎭海の視兵式

議場に溢る決戦色

錬成の成果は歴然

巢立つ學兵を大堀大佐激賞

平北 🕫割當を悠々突破

學る赤誠

と、华盛二千五百萬の

の夕賑ふ

『日蓮親髻の夕』は廿七日午後六 冬休みもあつさり返上

順天の年末警戒師



謹

一 省 製 薬 所の御方針に順應して貿樂部は、新統合體にる「京城蟾品工業、株式會社」を創設し新設足することに相成りましたから官敷く、御課承して下さい。尚新樂部は一層擴張の上研究部と工場とを增設し慢長なる醫樂品生産を以て醫樂報國に邁進せんと致して居りますがの何和告告の神楽技の社事加慮の申出がます。「昭和十八年十二月 日 京城府 鍾路 區 貫 鐵町

省區 世級

研 新 第 工場

新社名 弘中:雷尔里宁省

中重工

株 株

式 Æ,

弘

rþi.

藺 \mathbf{x}

代表取締役証長

弘

中

會具會

社 一社

主総會ノ決議

更 謹 告

薔薇の花の意匠で有名な・

興亞化學工業の力作です

パパイン

3公へ之二年十ヲ式 告其ヲ提十八酸ハ 候ノ以出一年ミ商

渡邊 晋 麗美 院門多

日本にレス

大祓につい

驀進一路

區制實施、配給整備、必勝防空

一所注画で

町會

配給

開カセ骨の 節リキ膜能 炎スイ炎

戦ふ京城府政一年の綜合戦果

動物ぶりは全著員の耐い信仰

- 昨年一月銀山艦留置

作家の死間は一家の愛知知師との一般の愛に既へて永春用楽器 氏と婚えたとせて一巻でも名。『係では柳瀬道を着へぬこれのの で、「と た我 き渡らず魔流ルや衛輩町路が 横へ流れる水酒

水登浦署が嚴重警告 着を多要摘破した

(平置) 国代河井四日午後一時間

重態を秘し

て殉職

隠警察官の華

山並巡查

下一日を飾る頭粉を嫌かにしては 申論ない。と人と感じる責任觀か

五萬圓の窃盜

な病

0

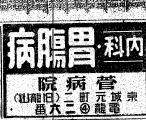
















愛國班側の割當突破は確實

法人側はもう

でかの。

波間子の場合(三

興亞運

木材確保に萬全

朝 (版)





































理事長波邊豐日子氏

重要物資管團幹部決る

渡邊理事長談

最後の

として七田同盟】ドイツ家 上売の沈波について次の通り。

巡戦艦シ號英雄的交戦 弾なで 教たなる年へ決意

省補はん

證券株式會址

必至、敵。飛石

0)

中風·高血壓·神經痛 原因を明に 今津博士の素晴しい丹江

藏人

飛行場等軍事施設



フィンで八機・電像 「開末卒年〇〇基単廿八日同也」

戦爆五機を血祭り

廿四日朝にはB24十六歳をもつて 「その一機を騰墜した、

烈々たる隊長の訓示に海鷲勇躍出陣

中○○基地にて (海軍省時可消第101號)

収買既に

九割五分

深戰第三年 興農滿洲磐石

通問帶京の でグネ社長) 製造ならびに 関する性に これを決定の より『昭和十 につき説明、

原菌に對する防衛運 戦ふ 白血















納献を、約節、へ敵滅 銃機射高らか女高一第

【智能=翻解軍へ第一部女の副制

生産戦は ・ 生産戦は ・ 一本源作高店 ・ 一本源作高店

西文師 野便原備》 十生了天 北原器外引 産学科 高・峰深 野(の)まま

第十八年十二月廿八日 京城府中區本町二丁目世間 税 を輸放婦の後は御難退申上陸 | 同末 | 重地

京城 湯屋 營 業組合此之段離告住候 一十九日午後三時より沿岸町西本順寺別院に於て 本他間齊海茂 一次貢生男鄉



文岩兵長盛大な告別式

建物を産業戦士の合宿へ提供

候間此之段謹告仕候 學 時院長 吉本惠七殿二十八日 午前五時 面水利組合

に生前の 御厚館を深謝し 此段離 不相叶二十八目 午前五時死去仕壊焔 京城帝大病院に 入院加寮中





関見で御座の

最惠

況(其)

相方